

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|-----------------|-----------------------|--|--|
| 家計 動向 関連 | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・前年まで店外で開催していた衣料品催事の廃止や、物産展催事の苦戦で全館売上の前年比こそ伸びていないものの、婦人ヤングや紳士服、婦人雑貨の売場等で前年をクリアするなど、店頭の上売そのものは上向している感触も出ている。 |
| | | コンビニ（経営者） | 販売量の動き | ・たばこの予約売上と飲料、アイスクリーム等の売上が良くなっている。 |
| | | 家電量販店（総務担当） | 来客数の動き | ・節約に疲れたのか、少しグレードの高い商品を検討、購入する客が増えてきた。 |
| | | その他専門店【書籍】（店長） | 来客数の動き | ・前年同月比で100%をクリアしそうな傾向が見られる。ここ3か月で比べても来客数が伸びている。 |
| | | 観光型ホテル（マーケティング担当） | 販売量の動き | ・今月の稼働率は3か月前と比べ、前年比の増加幅が大きくなっている。今年は前年のように大型連休は無いが、予約受注が回復基調にあり、大きく前年を上回る稼働率となっている。 |
| | | 旅行代理店（代表取締役） | 競争相手の様子 | ・秋の旅行シーズンを迎え、円高等の影響で、特に海外への旅行者数は前年よりも伸びている。 |
| | | その他のサービス【レンタカー】（営業担当） | 来客数の動き | ・稼働件数が前年比で115%と好調に推移している。観光客のレンタカー利用が伸びており、沖縄の入域観光客数が増えているものと予測される。 |
| | 住宅販売会社（総務・企画分野） | お客様の様子 | ・商品購買について、質問や対応が積極的になってきている。質問等が具体的な価格やメリット等になっている。 | |
| | 変わらない | スーパー（販売企画担当） | 販売量の動き | ・前年との旧盆時期のずれにより今月の売上は大変厳しい状況となっている、8～9月の2か月合計で見ても大変厳しい状況が続いている。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・天候不順の影響がある。台風と豪雨によって来客数が減少している。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・たばこ増税前の特需はあるが、たばこ以外の売上が前年比で3%減少している。これは、できるだけ少なく、できるだけ安く買うという傾向が続いている証拠でもある。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 販売量の動き | ・販売量は少し落ちているが、客単価が上がってきているのであまり変わっていない。 |
| | | その他専門店【楽器】（経営者） | 販売量の動き | ・9月までは順調で観光客も多い。元々、前年も下がっていたので、それ以上の落ち込み感も無く、部署も縮小しているので大きな変動は無い。台風もそれ、本島にはほとんど影響が無かった。これからは、商品開発等の新しい商品を提供できる体質改善をしないと厳しい状況に対応できないかもしれない。 |
| 観光名所（職員） | | 来客数の動き | ・施設利用者数が前年並みである。ただ、前年の9月は新型インフルエンザで、前々年と比べて2割ほど落ち込んだ月である。売上は前年同月比で減少しており、沖縄観光は厳しい状況にあると言える。来園者は学生、一般団体等が中心である。 | |
| ゴルフ場（経営者） | | 単価の動き | ・相変わらず低単価傾向である。単価が上がっていく様子は今のところ一つも見当たらない。 | |
| やや悪くなっている | その他飲食【居酒屋】（経営者） | 単価の動き | ・前年に比べ全体的に来客数、単価とも5～6%落ち込んでいる。食べ飲み放題を始めた店舗は若干売上が上がっているが、少ないスタッフで原価率を下げるための努力、スピード、品質の向上、気づかいを要求され、疲れきっている。 | |
| | 通信会社（店長） | 販売量の動き | ・店舗立地上、外国人の来店、購入が半数近くを占めるが、今月は円高により消費を控えているのか、外国人向けの販売量が前月より2割ほど減少している。 | |
| | 悪くなっている | | | |
| 企業 動向 | 良くなっている | - | - | - |

| | | | | |
|-----------|----------------|-----------------|--|--|
| 関連 | やや良くなっている | 輸送業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注量や受注見込み案件が若干増えてきている。荷主は営業活動と物流を分離する「商物分離」により、販売特化を進めていると推測される。 |
| | | 通信業（営業担当） | 取引先の様子 | ・仕事の話が出てくるようになってきている。また同業者からも、受注に向けて交渉中との話をよく聞く。実際受注に至ったとの話もあり、業界全体としても景気回復の兆しを感じる。 |
| | 変わらない | 窯業・土石製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事は前年を下回り、建設業者の受注高も振るわず、全体で前年割れである。一方、新設住宅着工数は貸家が好調で前年を上回っている。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・契約件数や、金額が横ばい状態である。 |
| | 輸送業（代表者） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事の発注時期であるが、例年のレベルよりやや良いと考えられ、弊社の受注量も順調なまま推移している。 | |
| やや悪くなっている | コピーサービス業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・インターハイも終わり、受注のめどが立たない。 | |
| | 悪くなっている | - | - | - |
| 雇用関連 | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | 人材派遣会社（総務担当） | 求人数の動き | ・派遣先からの受注案件が増えてきている。 |
| | 変わらない | 人材派遣会社（経営者） | 求人数の動き | ・求人数において、あまり変化は無い。派遣依頼は引き続きある程度はあるが、新規の依頼が伸びない。 |
| | やや悪くなっている | | | |
| | 悪くなっている | 職業安定所（職員） | 求職者数の動き | ・新規求人の増加に加え、月間有効求職者の増加・滞留が見られる。県内における失業者の4割以上の若年失業者が安易な季節工・テレホンアポインター等に従事し、資格・経験を尊重する県内中小事業所が求める率優先とはミスマッチが生じている。若年者の育成・養成等が緊急の課題であり、将来の県内経済界が憂慮される。 |